

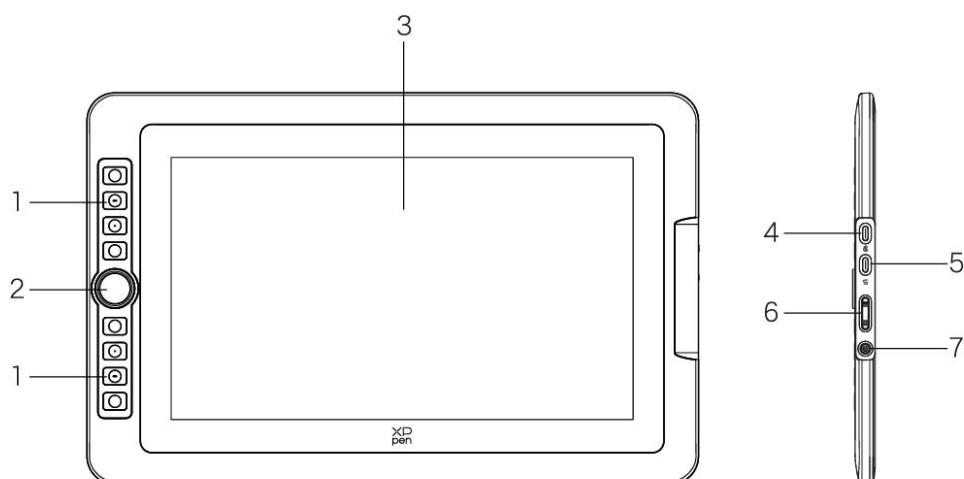
カタログ

紹介	2
製品概要	2
1、製品概要	2
2、付属品リスト	2
3、コンピュータの USB-C 接続	3
4、Android スマートフォンおよび Android タブレット接続	3
5、互換性	4
製品設定	4
6、ドライバのダウンロード	4
7、ドライバのインストール	4
a) Windows	5
b) Mac	5
c) Linux	6
8、ドライバの機能設定	6
デバイス設定	7
ペンの設定	18
ドライバ設定	21
9、ドライバのアンインストール	22
a) Windows	22
b) Mac	22
c) Linux	22
よくある質問	22

紹介

製品概要

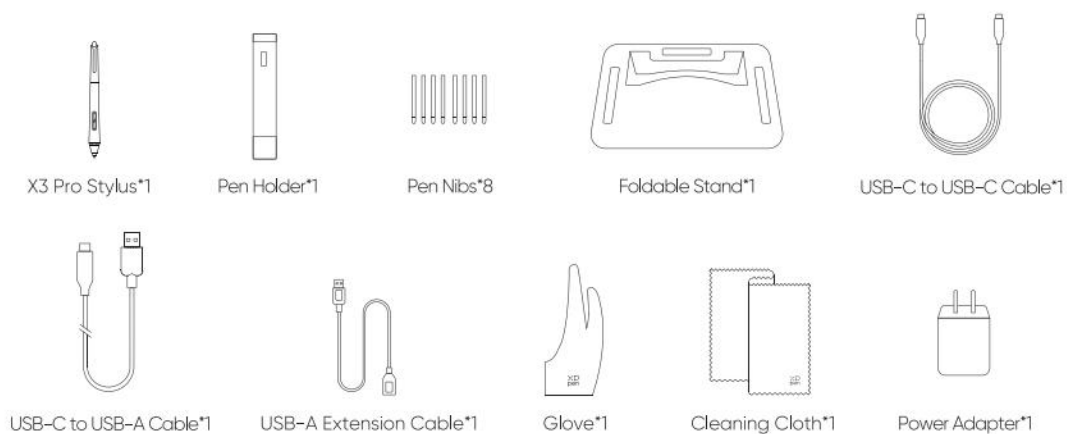
1、製品概要



1. ショートカットキー
2. リングホイール
3. ディスプレイ/作業エリア
4. USB-C to USB-A ポート
5. フル機能の USB-C ポート
6. 輝度+/輝度-
7. 電源キー/指示ランプ

電源ボタンをクリックしてオンにすると、青いライトが点灯します。

2、付属品リスト



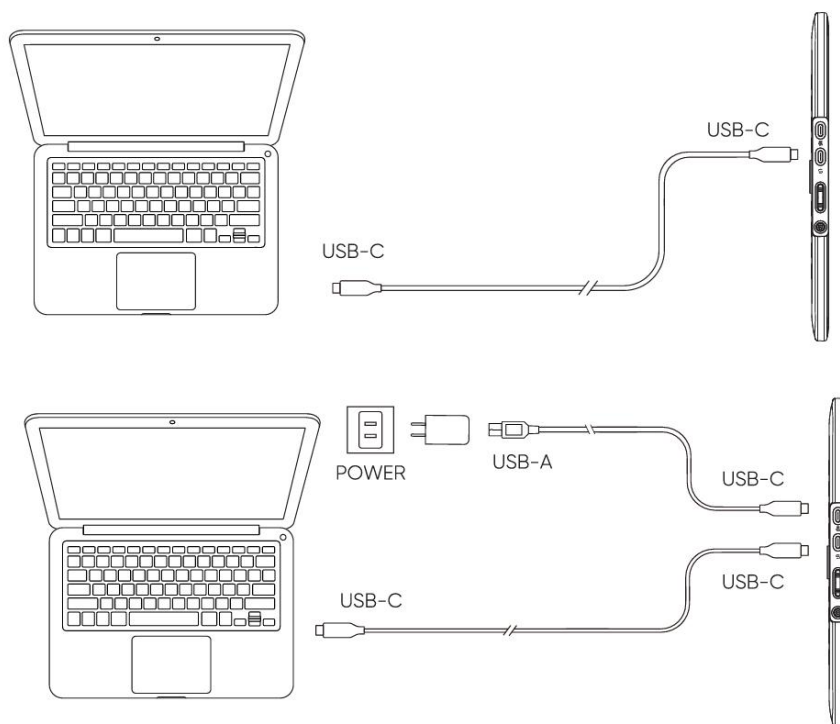
- X3 Pro スタイラスペン*1
- ペンホルダー*1
- 替え芯*8
- 折り畳み式スタンド*1
- USB-C to USB-C ケーブル*1
- USB-C to USB-A ケーブル*1
- USB-A 延長コード*1
- 手袋*1
- クリーニングクロス*1
- 電源アダプター*1 (Artist 15.6 Pro V2 のみ付属)

* 画像はイメージです。実際の商品をご確認ください。

*電源アダプターは Artist 15.6 Pro V2 の標準付属品ですが、Artist 13.3 Pro V2 では別売りです。

3、パソコンとの USB-C 接続

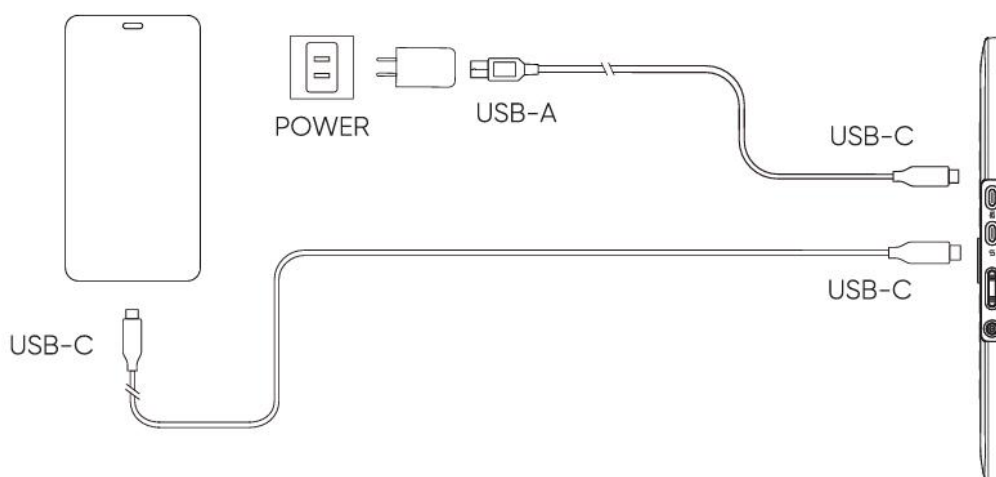
- 1) パソコンと液晶ペンタブレットを USB-C to USB-C ケーブルで接続してください。
- 2) 液晶ペンタブレットがつかない場合は、USB-C to USB-A ケーブルを使用して電源アダプタに接続し給電してください。



*製品の仕様が異なり、電源アダプターが付属されない場合があります。実際に受け取った製品をご参照ください。

4、Android スマートフォンおよび Android タブレット接続

- 1) USB-C to USB-C ケーブルで直接デバイスに液晶ペンタブレットを接続します。
- 2) USB-C to USB-A ケーブルを使用して電源アダプタに接続し給電してください。



*対応するスマートフォンモデルについては、公式ウェブサイトをご参照ください。

*製品の仕様が異なり、電源アダプターが付属されない場合があります。実際に受け取った製品をご参照ください。

5、互換性

Windows 7 以降

macOS 10.13 以降

ChromeOS 88 以降

Android (USB3.1 DP1.2)

Linux

製品設定

6、ドライバのダウンロード

- 1、パソコンと液晶ペンタブレットが接続されていることを確認してください。
- 2、XPPen 公式ウェブサイト (www.xp-pen.jp) にログインし、「サポート」ページに移動して「ダウンロード」をクリックします。製品モデルとコンピュータの OS に基づいて対応するドライバをダウンロードしてインストールします。
- 3、ドライバを開き、パラメータを設定して製品の機能をテストします

7、ドライバのインストール

注意：

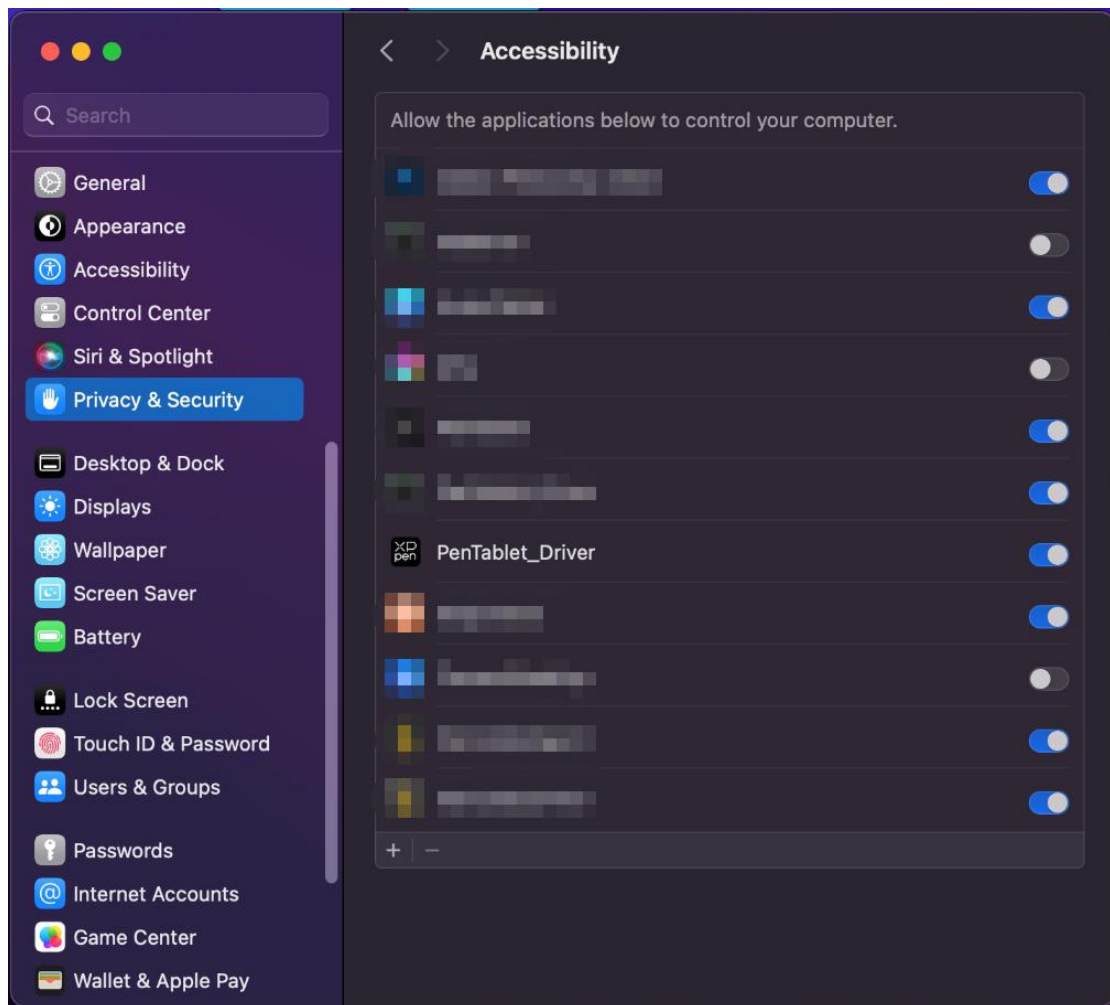
- インストールの前に、すべてのウイルス対策プログラムとグラフィックソフトウェアを閉じてください。
- インストール前、他のブランドの液晶ペンタブレットのドライバ（もしあれば）をアンインストールしてください。
- インストール完了後、コンピュータを再起動してください。
- デバイスの性能を最大限に発揮させるために、最新版のドライバをインストールするようお勧めします。

a) Windows

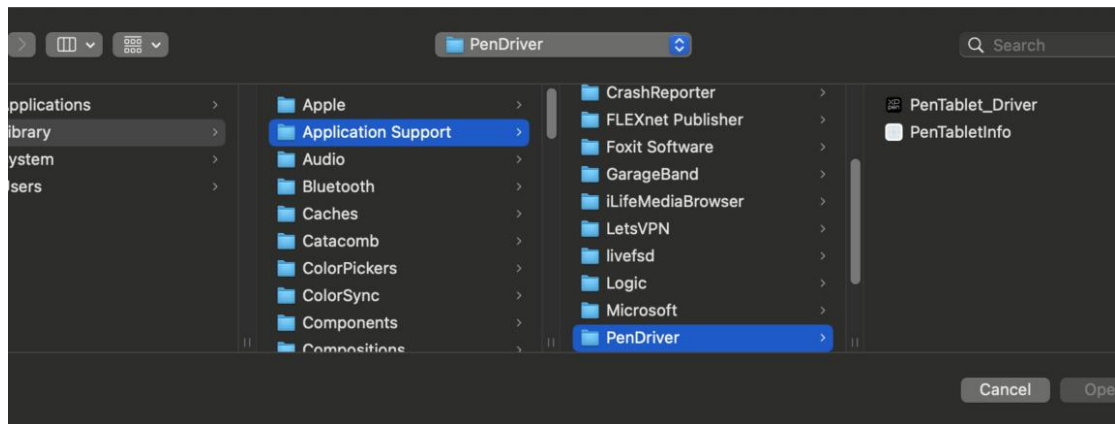
ファイルを解凍します。管理者権限で「exe」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

b) Mac

ファイルを解凍して「pkg」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。System Settings -> Privacy & Security -> Accessibility に移動し、PenTablet_Driver オプションがチェックされていることを確認してください。そうでない場合、デバイスとドライバが正しく機能しない可能性があります。



リストに PenTablet_Driver がない場合は、resource Library -> Application Support -> PenDriver の順にドライバを手動で追加してください。



c) Linux

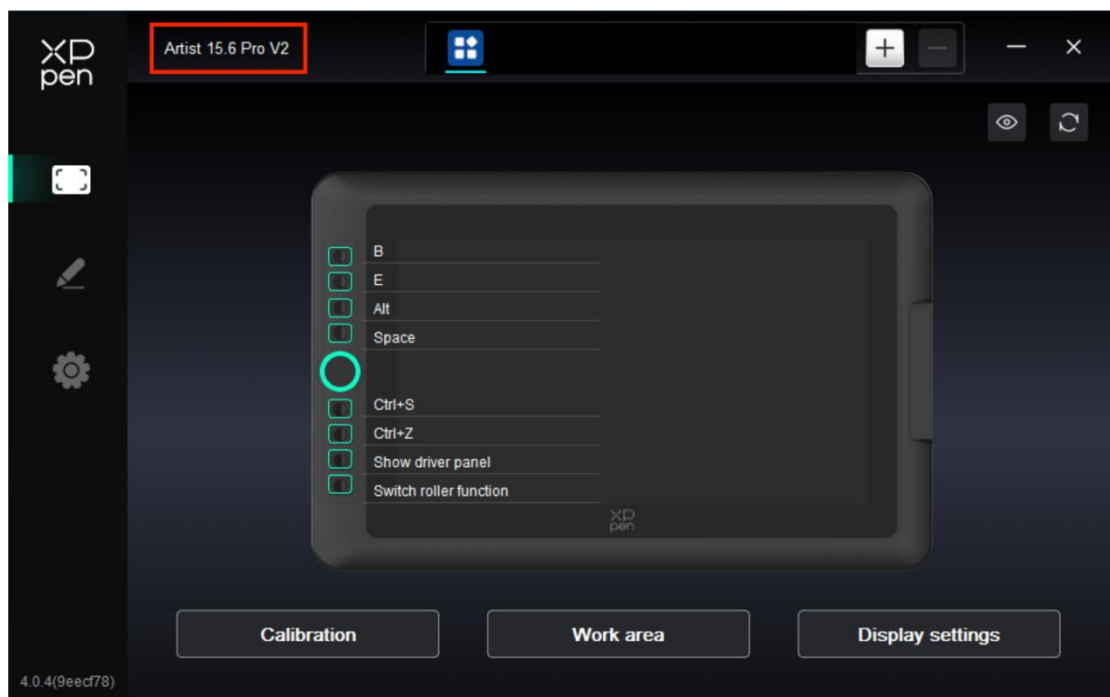
DEB : コマンド「`sudo dpkg -i`」を入力します。インストールファイルをウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

RPM : コマンド「`sudo rpm -i`」を入力します。インストールファイルをウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

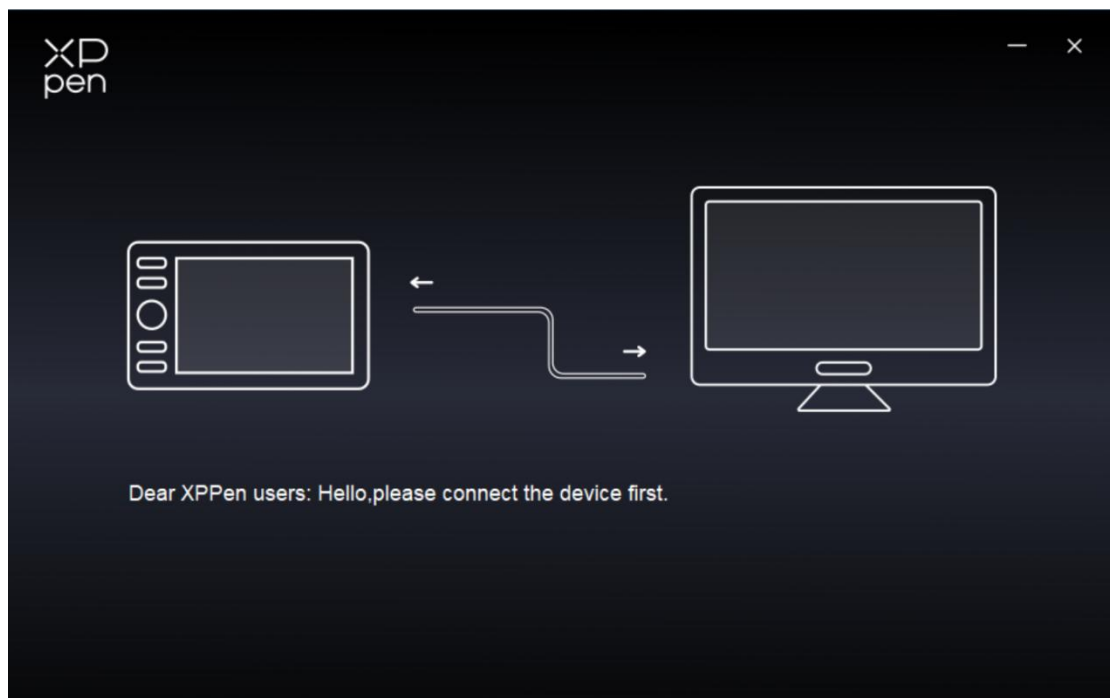
Tag.gz : ファイルを解凍します。コマンド「`sudo`」を入力します。「`install.sh`」をウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

8、ドライバの機能設定

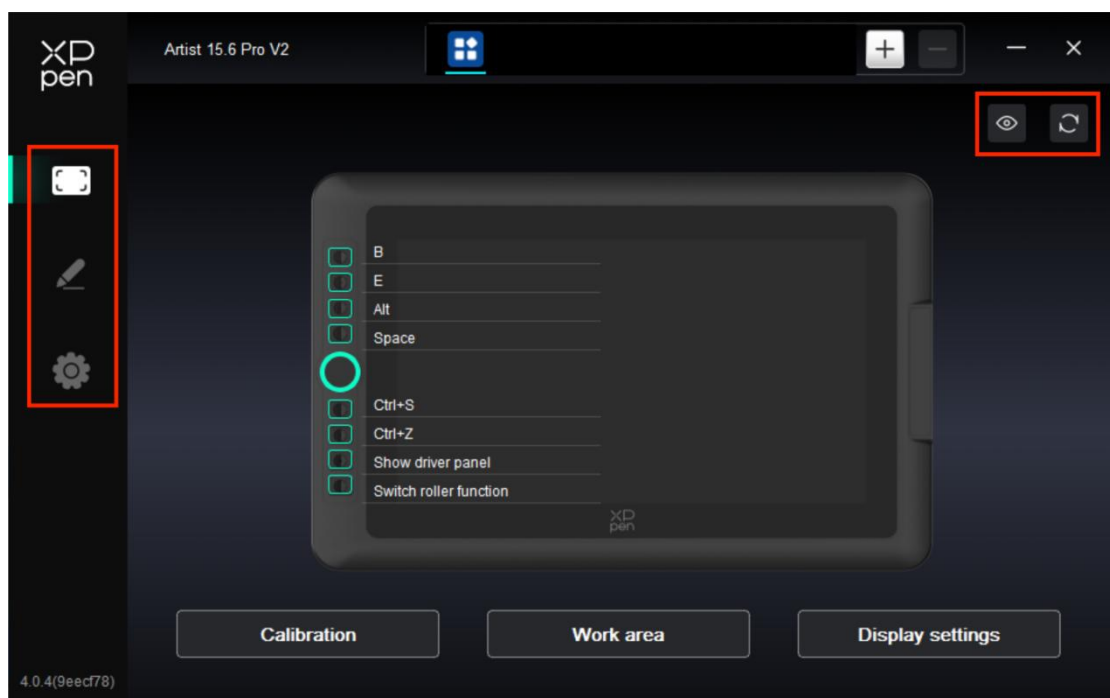
- 使用する前に、デバイスがコンピュータに正常に接続されていることを確認してください。デバイスがコンピュータに正常に接続されると、デバイス名がドライバの左上隅に表示されます。



- デバイスが接続されていない場合、またはデバイスが正常に接続されていない場合、以下のメッセージが表示されます。この場合は、コンピュータまたはドライバを再起動してお試しいただくか、カスタマーサポートにお問い合わせください。



デバイス設定



- 左側のメニューバーのアイコンをクリックして、ドライブ機能を切り替えます。上から順に、**デバイス設定**、**ペンの設定**、**ドライブ設定**です。
- 右上隅の[非表示/表示]ボタンをクリックして、ショートカットキーの機能プレビューをオン/オフにします。
- 右上隅にある [デフォルトの復元] ボタンをクリックすると、デバイスがデフォルト設定に戻ります。

1. キャリブレーション

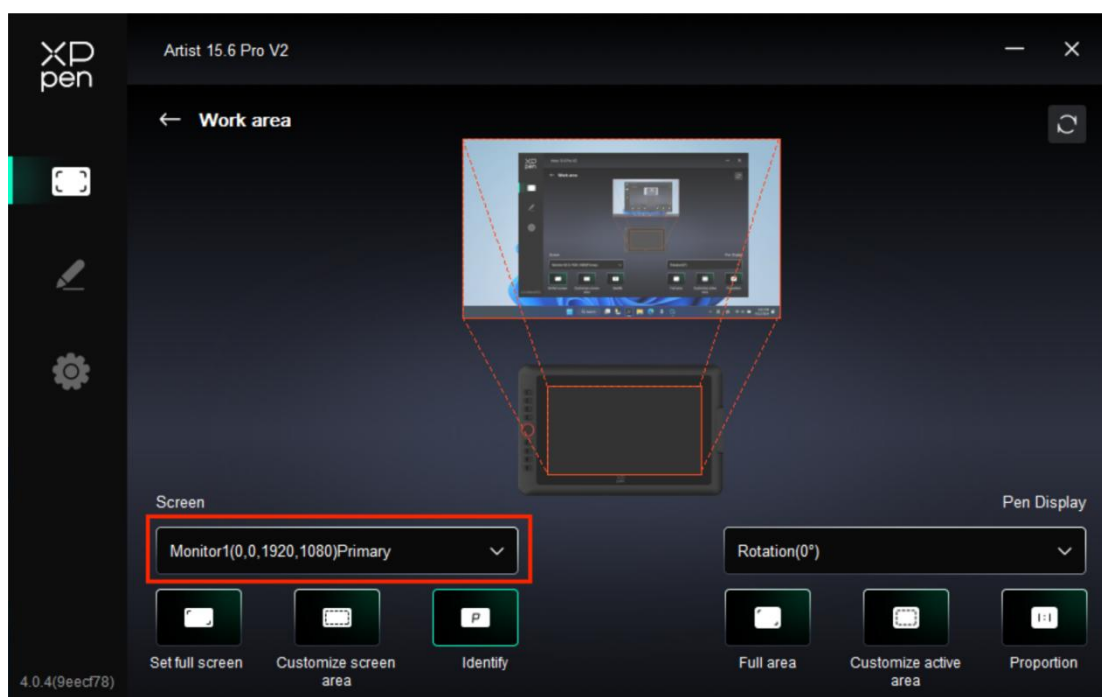
スタイラスの持ち方や角度には個人差がありますので、お好みの持ち方でスタイラスをご使用ください。製品が個人の使用習慣により適合するには、スタイラスを使用してデバイス画面上の赤十字の中心をクリックして、スタイラスとカーソル間のオフセットを調整します。

2. 作業エリア

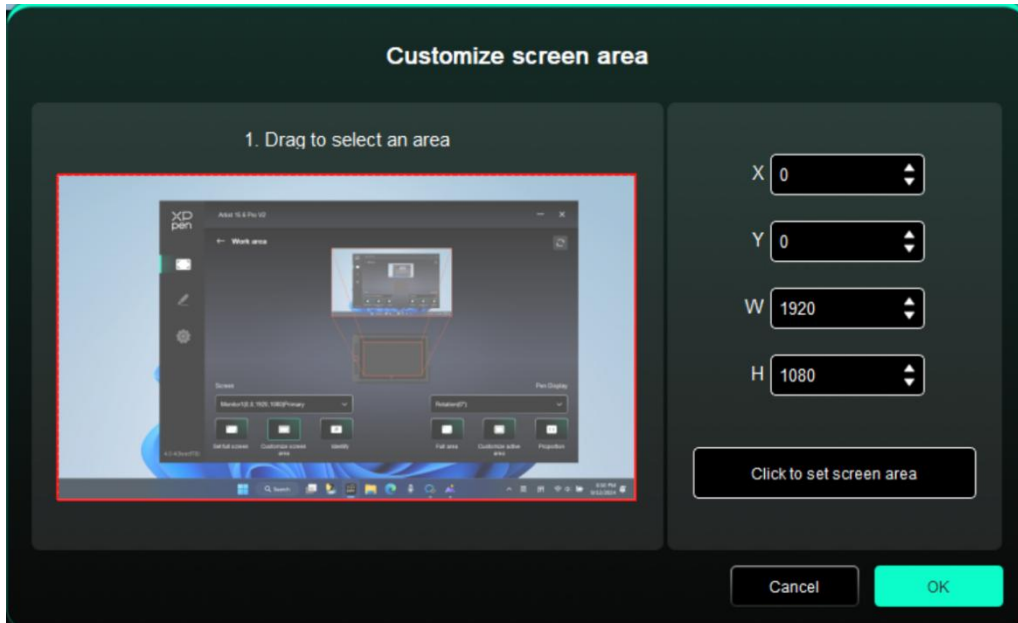
デバイスの作業エリアと画面エリアの間のマッピングを設定します。

2.1. 画面エリア

- 現在のモニターのディスプレイエリアとデバイスとのマッピングを設定できます。
 - a) 複製モードで複数のモニターを使用している場合は、デバイスの作業エリアはすべてのモニターにマップされます。ペンが作業エリアを移動すると、すべてのモニター上のカーソルが同時に移動します。
 - b) 拡張モードで複数のモニターを使用している場合は、モニタータブに移動して、デバイスの作業エリアをマップするモニターの1つを選択します。



- モニターのマッピングエリアを設定します：
 - a) フル画面エリアに設定：選択したモニターのフル画面エリア。
 - b) 画面エリアのカスタマイズ：

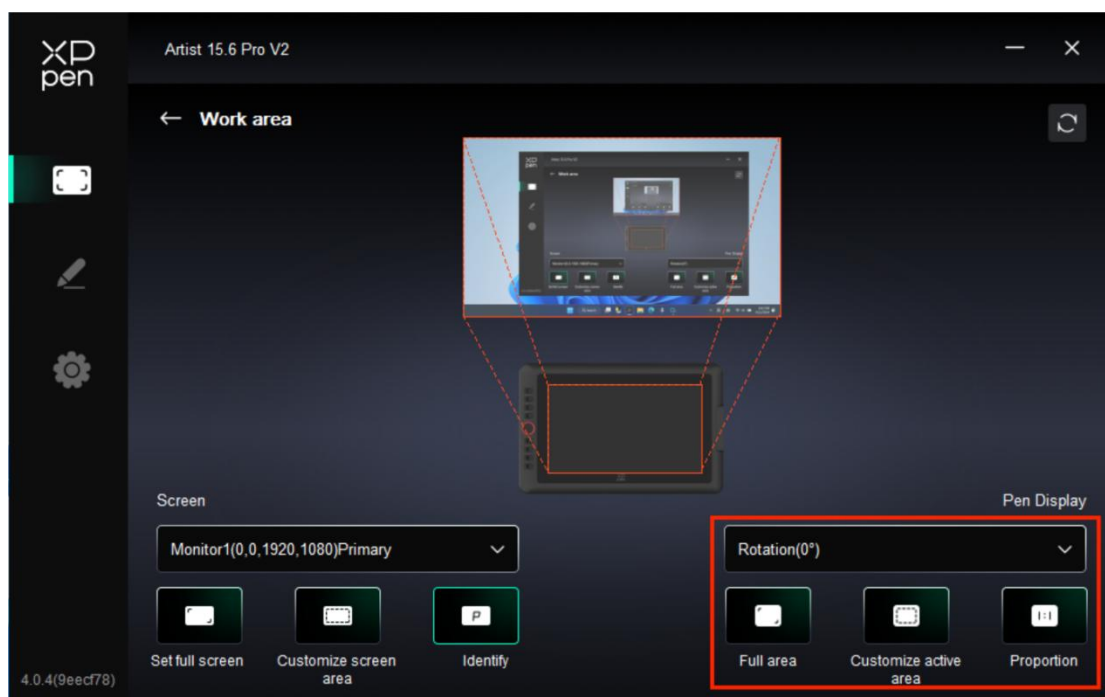


- ドラッグしてエリアを選択：カーソルを画面上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。
- 座標：X、Y、W、Hの各入力ボックスに座標を手動で入力します。
- クリックして画面エリアを設定：モニター上で左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。

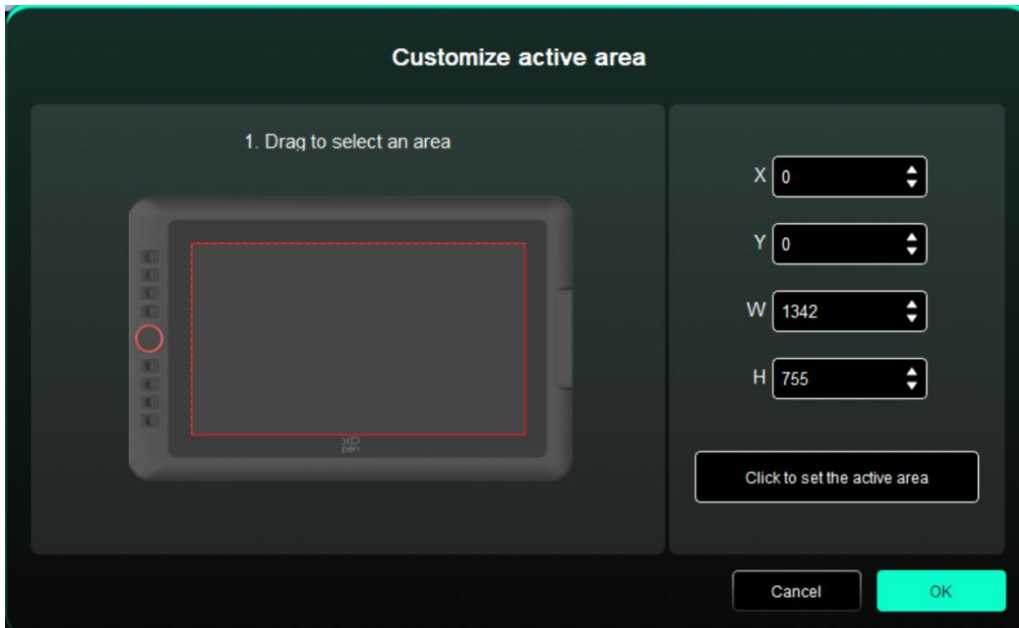
c) モニターの識別：

接続されているすべてのモニターを識別します。各モニターの左下隅に数値識別子が表示されます。

2.2. 液晶ペンタブレット



- デバイスの作業エリアを設定します：
 - a) フル作業エリア：デバイスの作業エリア全体が使用可能です。
 - b) 作業エリアのカスタマイズ：



- ドラッグしてエリアを選択：カーソルをデバイス上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。
- 座標：X、Y、W、H の各入力ボックスに座標を手動で入力します。
- クリックしてアクティブエリアを設定：デバイス上でスタイラスを使って左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。

- c) 縦横比：デバイスの作業エリアと選択したディスプレイエリアを比例的に拡大/縮小します。

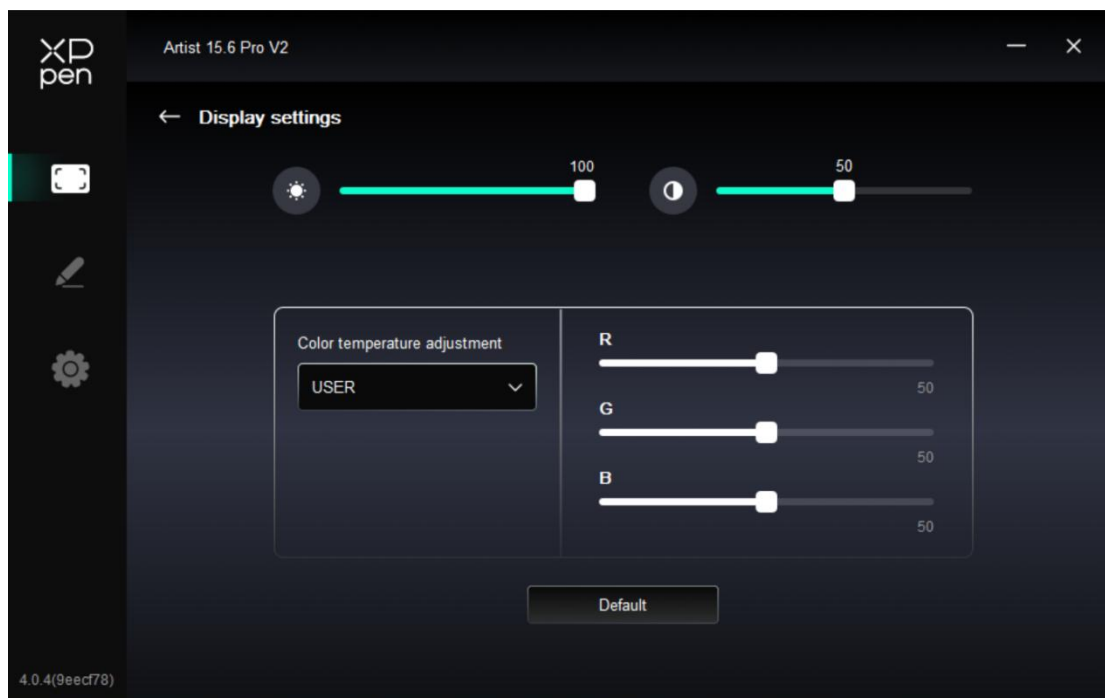
比率を選択した後、デバイス上で円を描くと、画面エリアに円が表示されます。ただし、作業エリアの一部が使用できない場合があります。ただし、縦横比を選択せずに円形を描くと、画面上で円形が楕円になる可能性があります。

- 回転の設定：

デバイスを時計回りに 0°、90°、180°、270° に設定して使用できます。

左利きモード：180°回転します。

3. ディスプレイ設定



➤ 輝度、コントラスト比

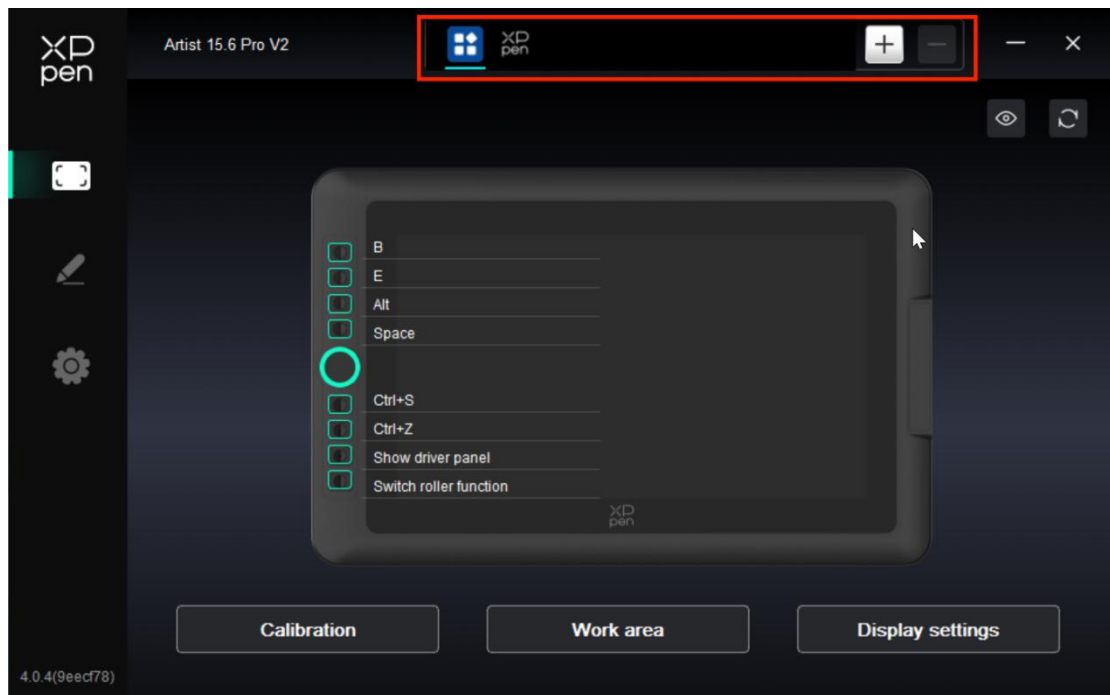
対応するスライダーをスライドさせて、輝度とコントラスト比を調整します。

➤ 色温度

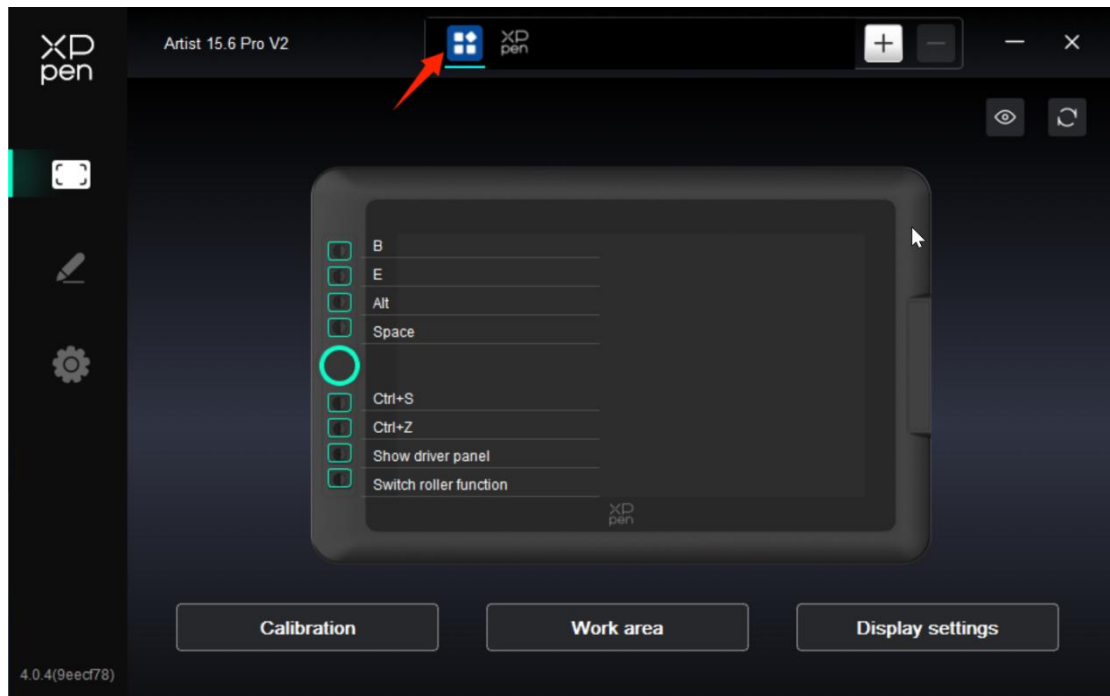
ドライバは 5000K、6500K（デフォルト）、7500K、9300K、USER の 5 つのモードを提供します。

特に USER モードでは、R、G、B の値の調整により色温度をカスタマイズできます。

4. アプリケーション

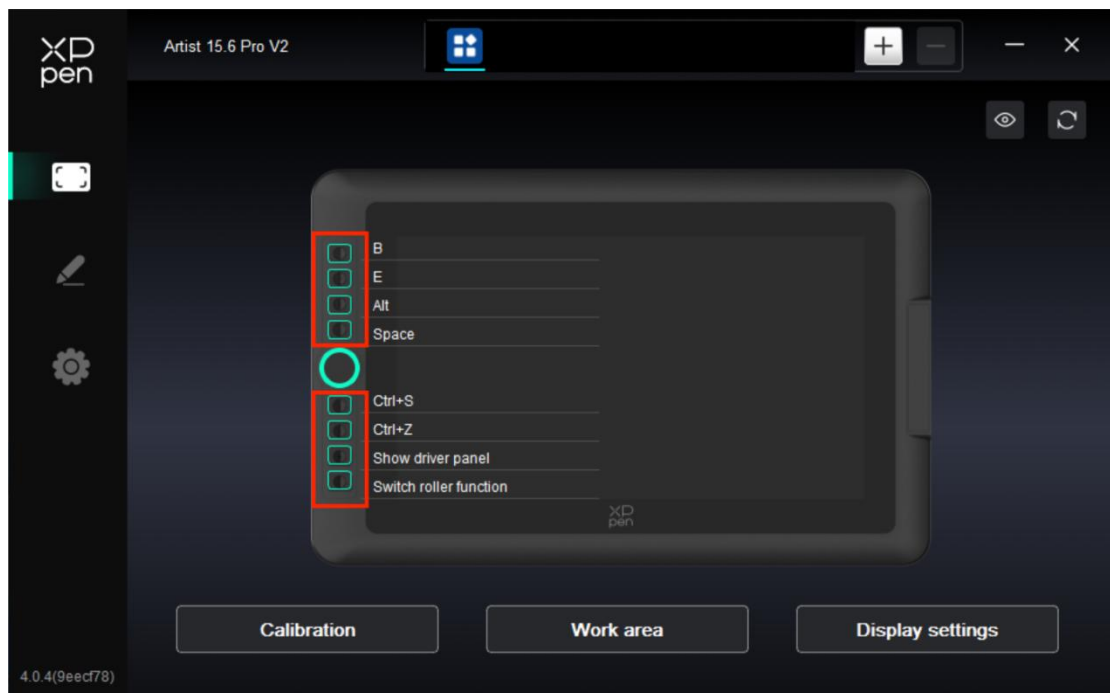


- 必要に応じて、上記のアプリケーションリストからアプリケーションを最大 7 つまで追加できます。追加の具体的な手順は次のとおりです：
 - 1.アプリケーションバーの右上にある「+」アイコンをクリックして、アプリケーションリストを開きます。
 - 2.実行中のアプリケーションから追加するアプリケーションを選択するか、「参照」をクリックして インストールされているアプリケーションから追加します。
 - 3.「OK」をクリックすると、選択したアプリケーションが追加されます。
 - 4.追加したアプリケーションを選択し、アプリケーションバーの右上にある「-」アイコンをクリックしてアプリケーションを削除します。
- いずれかのアプリケーションにチェックを入れると、ショートカットキー、スクロールホイール、ペンキーの機能をカスタマイズできます。この変更は、そのアプリケーションを使用している場合にのみ有効です。異なるアプリケーションを切り替えると、ドライバは自動的に認識し、対応する設定に切り替わります。



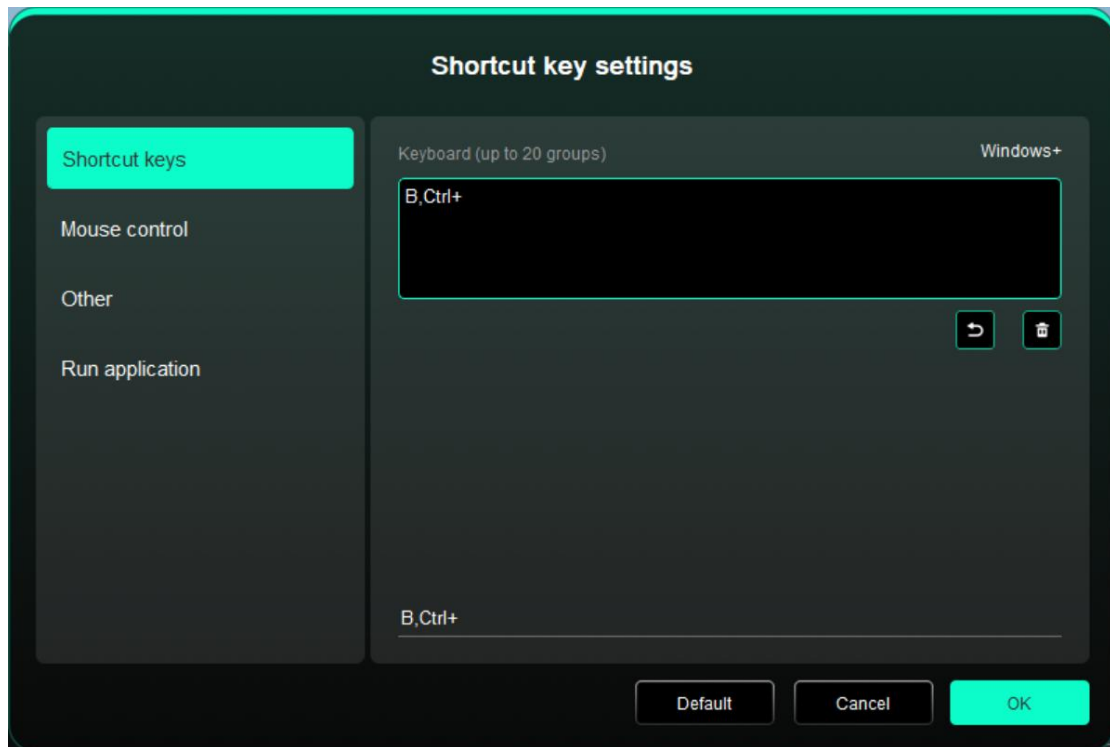
- 他のアプリケーションをすべて選択すると、他のカスタマイズされていないアプリケーションにも適用されます。

5. ショートカットキー



デバイス図上の対応するショートカットキーをクリックして、ホットキー設定インターフェースを開き、機能設定をカスタマイズします。

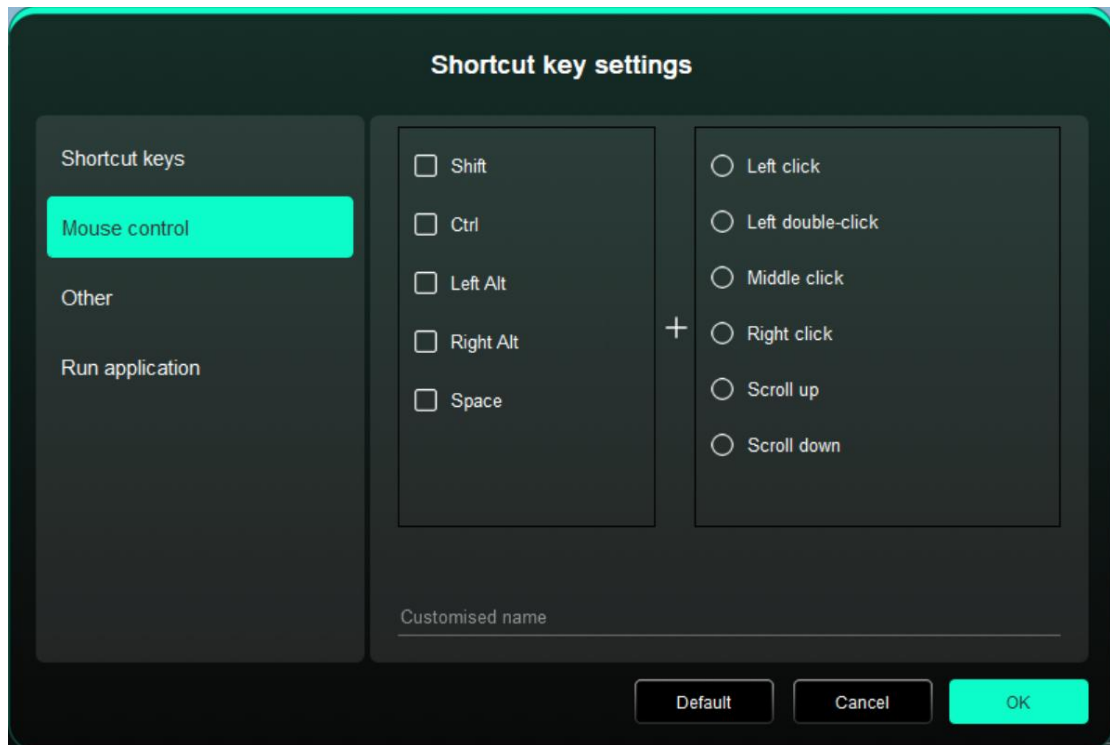
- ショートカットキー



選択したアプリケーションで、現在のキーを共通のキーボードショートカットに設定できます：例えば、3D MAX では「Alt+A」に設定すると、位置合わせツールが使用できるようになります。

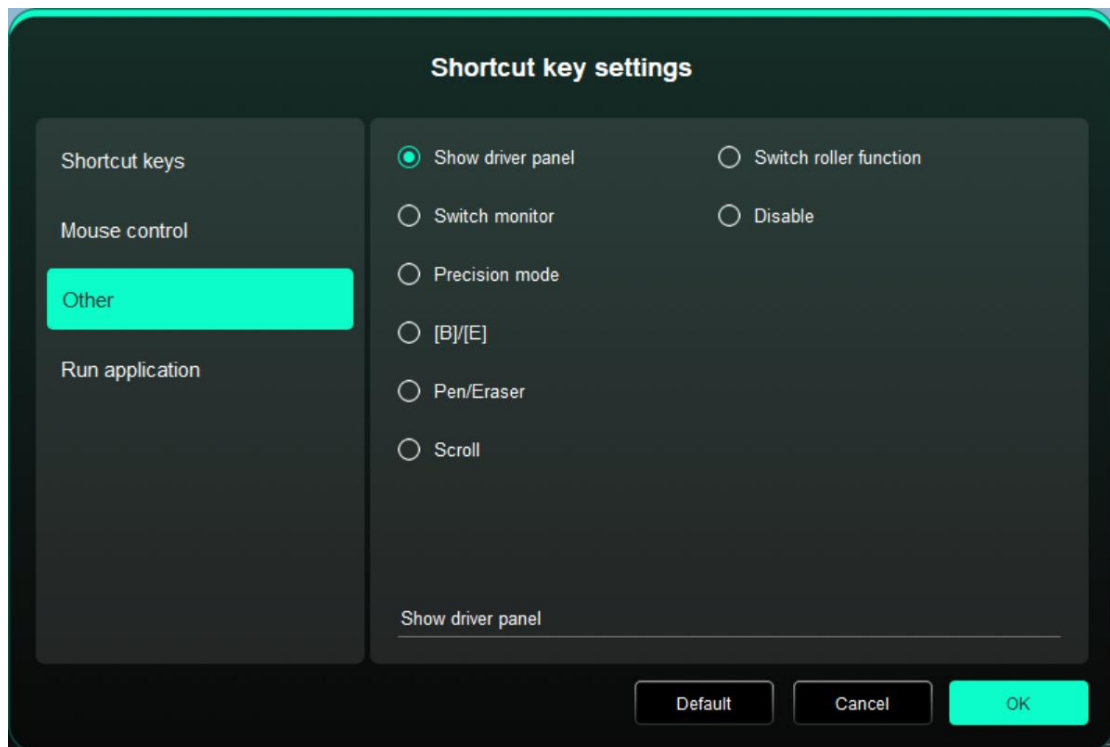
- a) 同じキーで複数のショートカットを設定できます：例えば、Ctrl+C/Ctrl+V と入力してキーを押すと、設定された機能がすべて同時に実行されます。
- b) 「Windows」を含むキーの組み合わせを追加する場合は、キーボードのシステムキーの代わりに右上隅の「Windows+」を使用してください：例えば、「Win (Cmd) +Shift+3」と入力する必要がある場合は、右上隅の「Windows+」をクリックし、キーボードの「Shift+3」を押します。
- c) カスタム名：画面の下部で、現在の設定の名称をカスタマイズできます。

➤ マウスでコントロール



マウスとキーボードのキーの組み合わせを設定します。例えば「Shift」と「左クリック」を選択すると、この組み合わせに対応したアプリケーション上の動作が実行されます。

➤ その他



現在のキーは、キーボードショートカットとマウス以外のショートカット機能に設定できます。

ドライバ画面表示：ドライバの設定パネルをすばやく表示します。

マッピング画面切り替え：複数のディスプレイデバイスがある場合は、カーソルを他のディスプレイデバイスにマップできます。

プレジジョンモード：デバイスの作業エリアを一定範囲に限定します。この機能を使用すると、より詳細な図面を作成できるようになります。

[B]/[E]：ごく少数のアプリケーションでペンと消しゴムを切り替える機能。

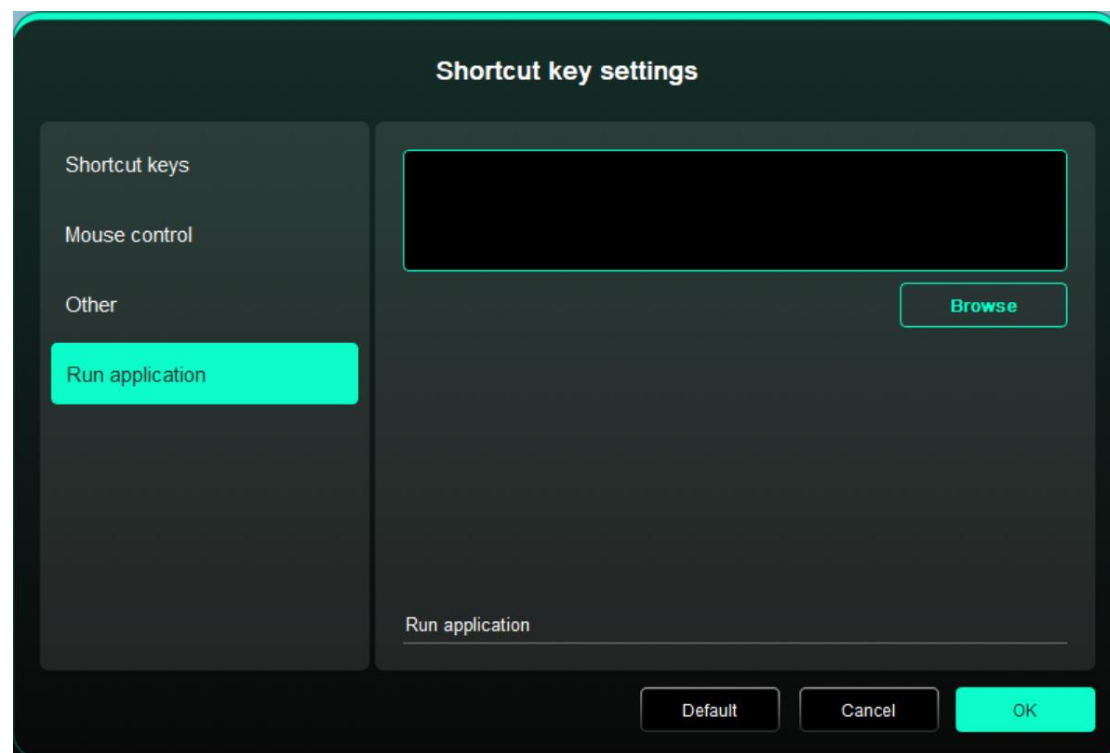
ペン/消しゴム：ほとんどのアプリケーションでブラシと消しゴムを切り替える機能。

スクロール：対応するボタンを押したままにすると、ペンでスクロールできます。

スイッチリング 1 機能：ローラーホイールの機能を切り替えます。

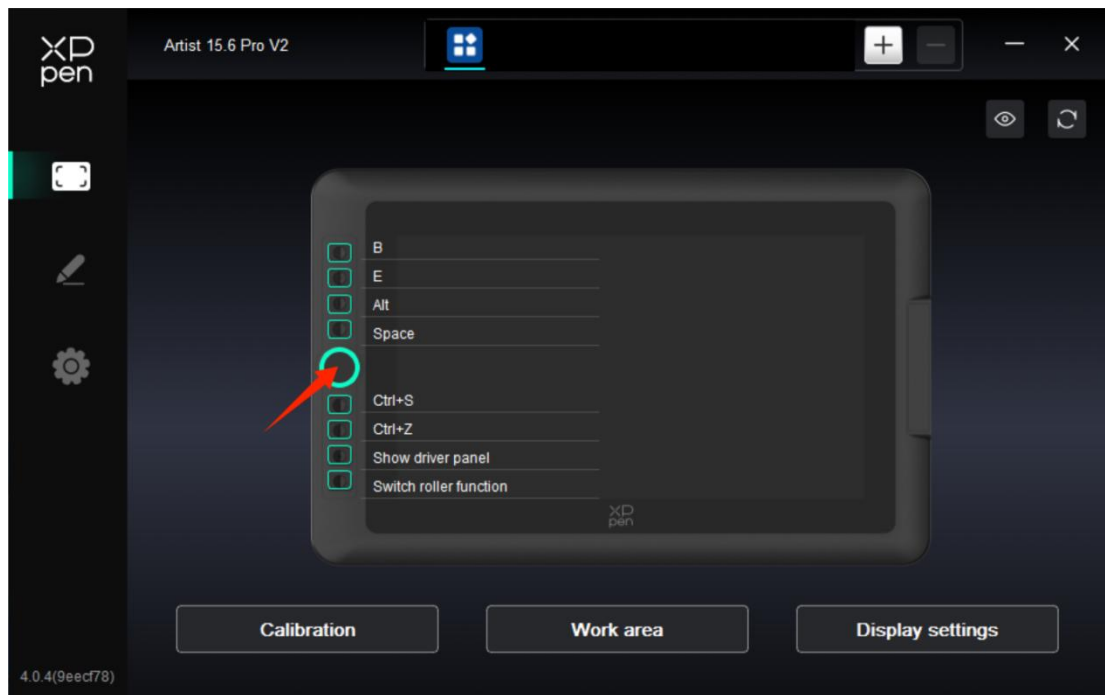
無効化：キーを押しても機能は起動しません。

➤ アプリケーションの実行

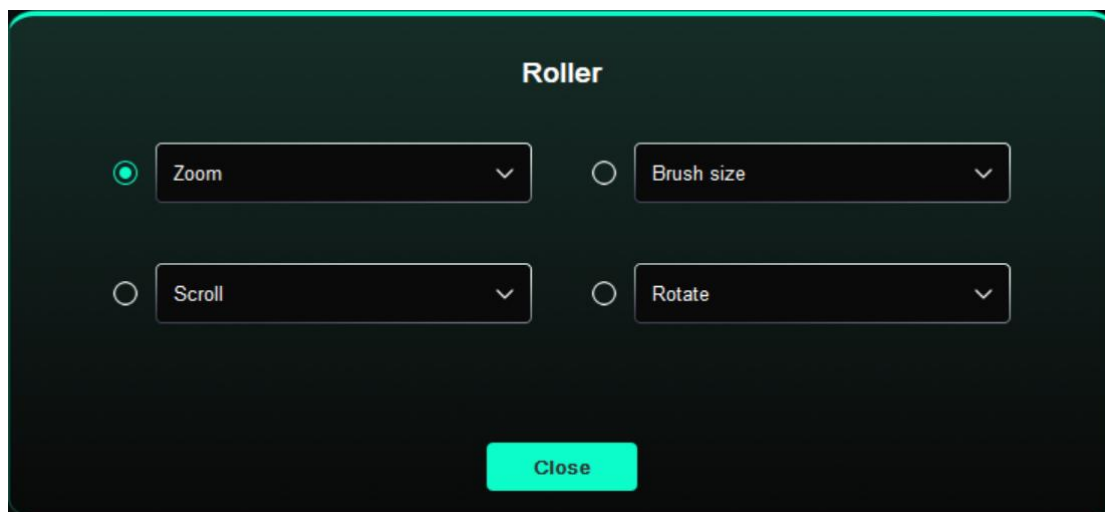


ショートカットキーを使用して、対応するアプリケーションをすばやく起動できます：[参照]をクリックして必要なアプリケーションを選択し、キーを押してアプリケーションをすばやく開きます。

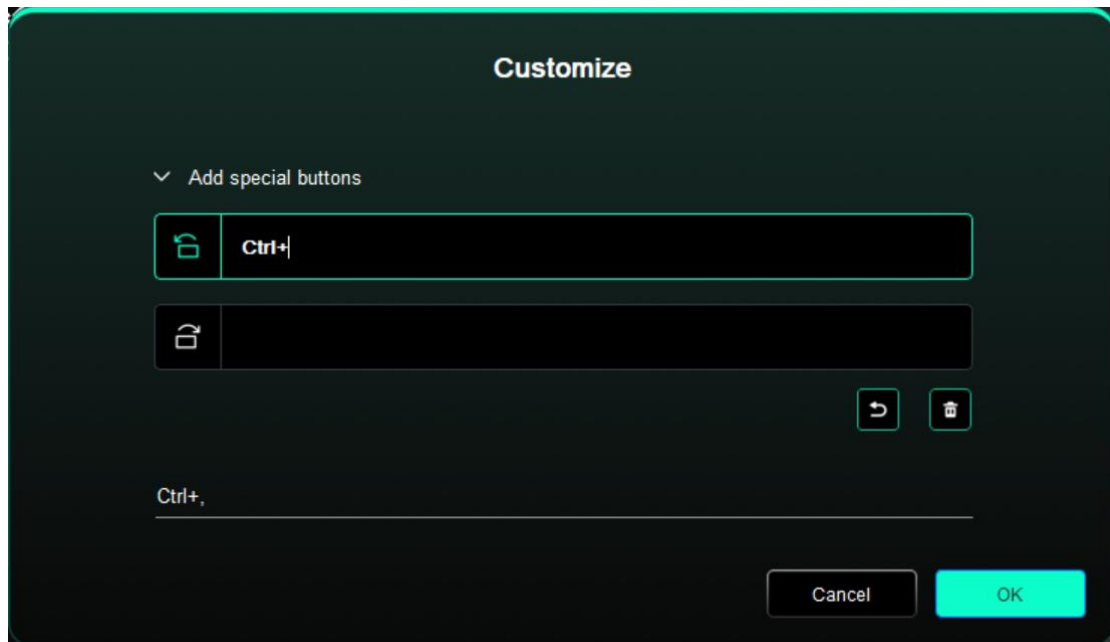
6. スクロールホイール



デバイス画像上の対応するボタンの位置をクリックして、その機能をカスタマイズします。

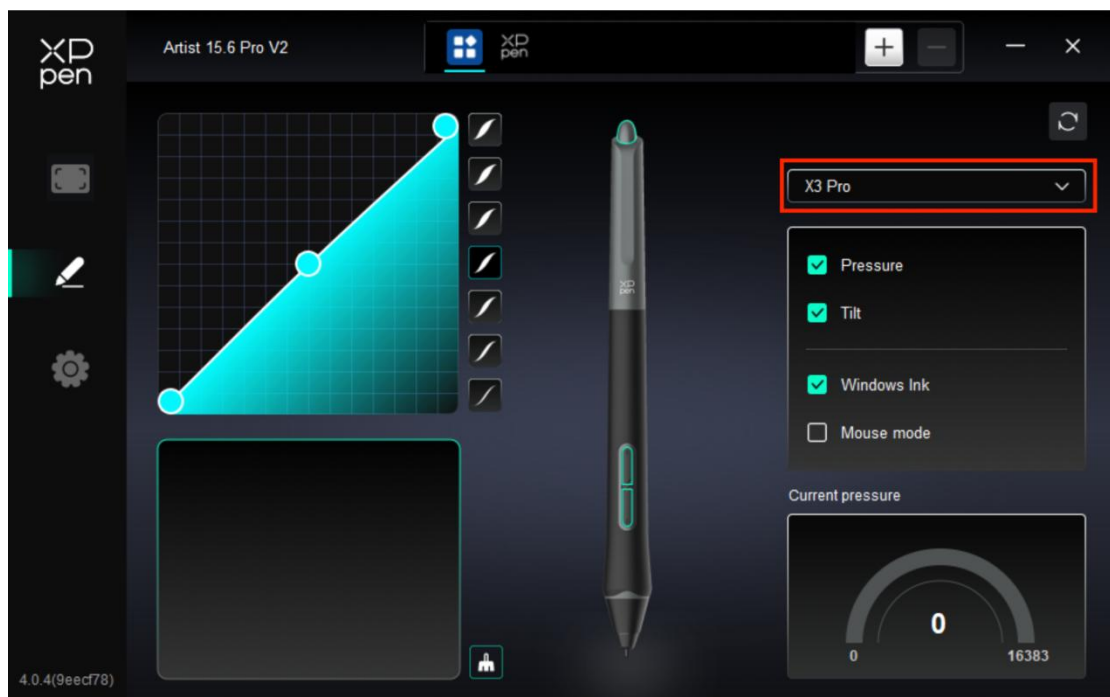


ドライバは、ズーム（デフォルト）、ブラシ、スクロールと回転の機能を有効にします。



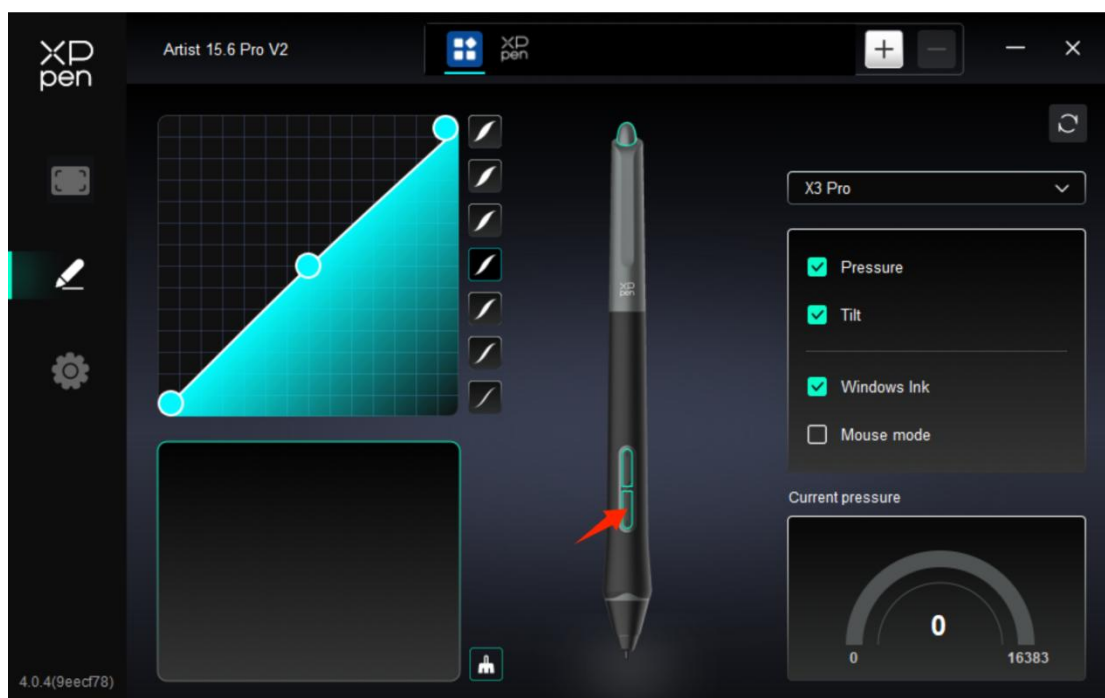
ホイール機能の各グループのドロップダウンメニューから[カスタマイズ]をクリックし、キーボードで設定するキーまたはキーの組み合わせを入力して、ホイールの時計回りと反時計回りの機能をカスタマイズできます。

ペンの設定



- スタイラスが作業エリアにある場合、デバイスはスタイラスを認識してドライバに追加します。スタイラスは、デバイスと互換性がある必要があります。
- 右側のスタイラス名のドロップダウンメニューをクリックして、対応するスタイラスを選択して設定できます。スタイラスを使用すると、ドライバはスタイラスのカスタム設定に自動的に切り替わります。

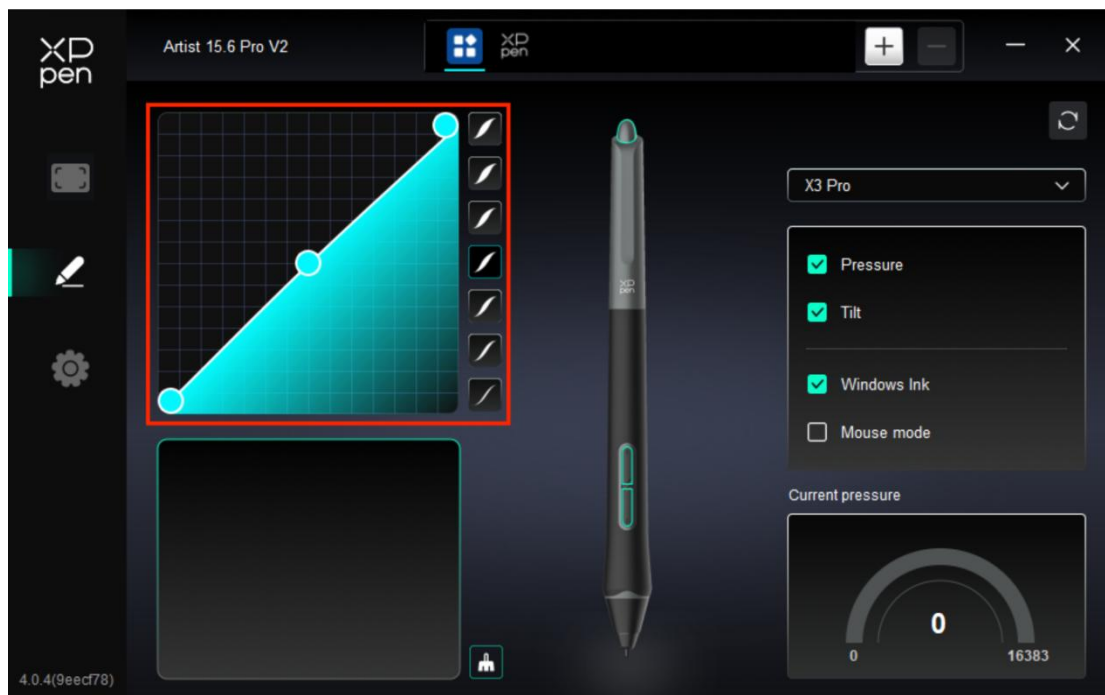
1. ペンキー



画像上のペンキーの位置をクリックし、ホットキー設定インターフェイスを開き、機能設定をカスタマイズできます。

カスタム機能設定の具体的な操作モードは、上記の「製品設定」→「ドライバ使用」→「デバイス設定」→「ショートカットキー」の操作モードと同じです。

2. 筆圧



➤ 筆圧曲線

筆圧を調整するには、筆圧曲線を手動で調整するか、右側のカラムにある筆圧プリセットオプションをクリックします。

スタイラスを使用して左下の描画ボード上に自由に描画でき、プリセットされた筆圧のブラシ効果をより直感的に感じることができます。

➤ 現在の筆圧

スタイラスを現在使用しているときに生成する筆圧の特定の値をテストします。

➤ 筆圧

無効にした場合、スタイラスを使用する際に筆圧が出ません。スタイラスを使用するときは、筆圧レベルによってブラシ効果は変わりません。

➤ 傾き検知機能

オフにすると、スタイラスの傾き検知機能が無効になります。

3. その他

➤ Windows Ink (Windows のみ)

デバイスの主な用途が絵画である場合は、この機能をオフにしないでください。

Microsoft Office/Whiteboard またはその他のソフトウェアでこの機能を使用する必要がある場合は、オフにしないでください。

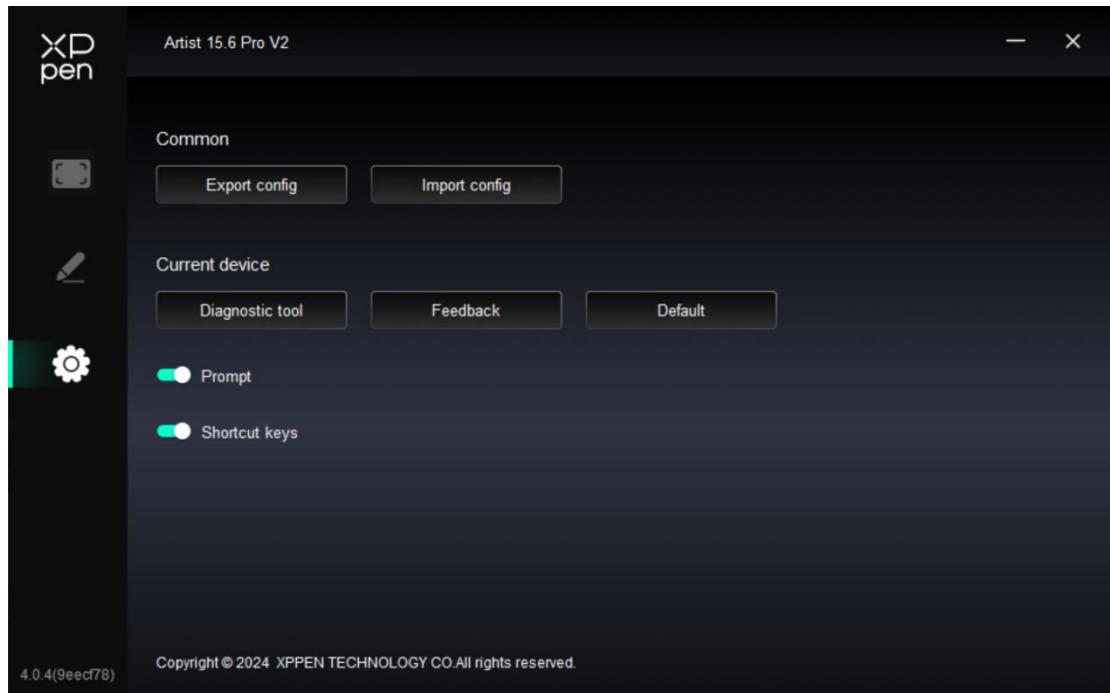
➤ マウスモード

このモードでは、スタイラスはマウスのように動作します。つまり、スタイラスを持ち上げると、カーソルはスタイラスを持ち上げたときの位置にとどまります。

選択すると、デバイス上のカーソルの移動速度を調整できます。

このパラメータが選択されていない場合、デフォルトでペンモードが使用されます。

ドライバ設定



1. 共通

- 設定のインポート・エクスポート

設定をインポート・エクスポートして、設定を保存したり読み取ったりすることができます。
この機能は、同じオペレーティングシステムでのみ使用できます。

2. 現在のデバイス

- 診断ツール

ドライバの使用中に問題が発生した場合は、診断ツールを使用できます。

- フィードバック

ドライバの使用中去質問やご意見がございましたら、このページからフィードバックをお寄せください。

- プロンプト

無効にした場合、キーを押しても、下部にキープロンプトは表示されません。

- ショートカットキー

無効にした場合、デバイスのすべてのキーの機能は無効になります。

9、ドライバのアンインストール

a) Windows

Start -> Settings -> Apps -> Apps & Features に移動し、「Pentablet」を選択し、画面の指示に従って「Unload」を左クリックします。

b) Mac

Go -> Apps に移動し、XPPen Pentablet Pro を探し、画面の指示に従って「Uninstall PenTablet」をクリックします。

c) Linux

Deb : 「sudo dpkg -r XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Rpm : 「sudo rpm -e XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Tag.gz : ファイルを解凍します。コマンド「sudo」を入力します。「uninstall.sh」をウィンドウにドラッグしてコマンドを実行します。

よくある質問

- 1. 液晶ペンタブレットに何も表示されないか、黒い画面が表示される。**
 - 1) デバイスが電源に正しく接続されていることを確認してください。
 - 2) ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - 3) インジケータランプがブルーであることを確認してください。そうでない場合は、ケーブルをチェックしてデバイスを再起動してください。
 - 4) 信号が不安定な場合は、ケーブルがしっかり差されていることを確認してください。
- 2. コンピュータでデバイスが認識されない。**
 - 1) コンピュータで使用している USB ポートが機能していることを確認してください。正常に機能していない場合は、別の USB ポートを使用してください。
- 3. スタイラスが動作しない。**
 - 1) デバイスに付属していたスタイラスを使用していることを確認してください。
 - 2) ドライバが正しくインストールされており、ドライバのペンの設定が正常であることを確認してください。
- 4. カーソルを動かすことができるが、描画ソフトは筆圧を感知できない。**
 - 1) 描画ソフトが筆圧に対応していることを確認してください。
 - 2) XPPen のウェブサイトから最新のドライバインストールファイルをダウンロードして、ドライバの筆圧が正常であることを確認してください。
 - 3) ドライバをインストールする前に、ウイルス対策ソフトウェアとグラフィックソフトウェアを終了してください。
 - 4) インストール前、他ブランドの液晶ペンタブレットのドライバをアンインストールしてください。
 - 5) インストール完了後、コンピュータを再起動してください。
 - 6) ドライバの筆圧が正常な場合は（Windows : ドライバのペンの設定で Windows Ink が有効になっていることを確認）、描画ソフトを実行してもう一度テストしてください。
- 5. カーソルオフセット。**
 - 1) ドライバのマッピングを確認します。
 - 2) ドライバでペンを校正してください。
- 6. ソフトを使用して描画するときの線の遅延。**

1) コンピュータの設定（CPUとGPU）が、インストールされている描画ソフトの推奨設定要件を満たしていることを確認し、描画ソフトの公式サイトに掲載されている「よくある質問」を参照し、関連機能を設定して最適化してください。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI trade dress、HDMI Logos という用語は、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。